

【News Release】



マグネシウム循環社会推進協議会

「 Mg-Day in TSURUGA 」開催について

マグネシウムは地球上にほぼ無限といえるほど存在している元素で、電池はもとより合金、構造材、建材等に広く使われています。そしてリサイクルを行い循環サイクルの実現が可能なのです。21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費する必要があります。その方法として、マグネシウムの製品、素材を自然エネルギーや余剰時のエネルギーを使ってリサイクルができれば更に有効活用ができるようになります。

マグネシウム循環社会推進協議会は構造材等の利用展開拡大から次世代エネルギーに向けてマグネシウムエネルギーを循環システムとして、国内だけでなく世界中のどこでも公平なテーマにおいて扱いができるよう啓蒙活動を推進し構築を実現することで、地球環境の維持保全に貢献してまいります。

今回開催されます「 Mg-Day in TSURUGA(敦賀) 」におきましては、マグネシウムを健全に普及させ、グリーンな製錬(精錬)で国内の自給促進を目指すために公開セミナーを開催いたします。

また、徳島県三好市では、平成26年12月の大豪雪で同市内の山沿いの地域が4日間孤立、電力供給がストップし、人的被害、交通障害が発生しました。近隣に位置する同市内山城地区の人々は、それを目のあたりにして危機感をつのらせました。そして、自立してエネルギーを地産地消し、エネルギーキャリアの集積基地とするべく、マグネシウムサイエンスパーク構想を立ち上げました。これは、地元住民が法人化を図り地域活性化につなげようとする事例であり、今回は、三好市からも参加いただいておりますので、この構想についても紹介いたします。

多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

1. イベント名

「 Mg-Day in TSURUGA 」

2. 開催日時

平成30年2月9日(金)

10:00~12:00

3. 開催場所

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター ホール

<http://www.werc.or.jp/>



4. プログラム

1	開会 ご挨拶	中島 英雄 若狭湾エネルギー研究センター所長
2	概要説明	マグネシウム循環社会推進協議会 会長・事務局長
3	公開・ディスカッション	グリーンなエネルギーを利用したマグネシウム製錬(精錬)の実現
4	閉会	質問等

* 公開・ディスカッション 出席者

座長 坂本 満 (独)産業技術総合研究所 九州センター 所長
柴田 浩幸 東北大学多元物質科学研究所 工学博士
小濱 泰昭 東北大学 名誉教授
能登 隆 JFEエンジニアリング(株)常務取締役 (予定)
中村 重勝 三鷹光器(株)代表取締役社長
小野 眞一 古河電池(株)代表取締役社長
高橋 秀剛 藤倉ゴム工業(株)取締役技術統括部長
篠田 佳彦 (公財)若狭湾エネルギー研究センター
主任研究員

5. 後援(予定) 経済産業省、近畿経済産業局、福井県など

6. アクセス 福井県敦賀市長谷 64 号 52 番地1
JR 敦賀駅下車 タクシー 20 分
舞鶴若狭自動車道・敦賀南スマート IC を降りてすぐ

開催場所の問合わせ先
(公財)若狭湾エネルギー研究センター 企画広報部
TEL 0770-24-7273

7. 問い合わせ先

(主催)マグネシウム循環社会推進協議会 事務局長
熊谷 枝折 E-mail s-kumagai@soleil-energy.jp
TEL 090-3752-0002
FAX 022-217-3884
HP <http://www.soleil-energy.jp>

(徳島地区) 一般社団法人 三好山城マグネシウム地域活性化協議会
顧問 並岡 和久 TEL 090-8975-5198

以上